Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 25 年 4 月 3 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　長 瀬 朋 彦
（コード番号：６８７９　東証第二部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営企画本部担当　角 田 光 敏
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７５０

IMAGICAウェストが旧作フィルムの修復・アーカイブ事業を強化

～ポジフィルム現像機を新規導入、4/2 より稼働～

当社子会社の株式会社IMAGICAウェストは、英国Photomec社製の映画フィルム用ポジ現像機を新たに導入し、4月2日から稼動を開始しましたので、お知らせいたします。

これまで長年にわたり数多くの映像制作に携わることで磨き上げてきた高品質な技術と豊富な経験に加え、このたびフィルム現像処理能力を強化し、旧作フィルムの修復・アーカイブ事業を推進していきます。

（添付資料　全 1 枚）

株式会社 IMAGICA ウェスト　ニュースリリース

『ポジフィルム現像機を新規導入し、旧作フィルムの修復・アーカイブ事業を強化』

以上



2013 年 4 月 2 日
株式会社 IMAGICA ウェスト

ポジフィルム現像機を新規導入し、旧作フィルムの修復・アーカイブ事業を強化

株式会社IMAGICAウェスト（大阪市北区　代表取締役：稲土広己　以下IMAGICAウェスト）は、英国 Photomec 社製の映画フィルム用ポジ現像機を新たに導入し、4 月 2 日から稼動を開始しました。これまで長年にわたり数多くの映像制作に携わることで磨き上げてきた高品質な技術と豊富な経験に加え、このたびフィルム現像処理能力を大幅に向上させたことで、IMAGICA ウェストはフィルムサービスをさらに強化しました。

映像制作の現場においても、劇場で上映するためのインフラ面においても、フィルムからデジタルへの移行は急速に進みました。しかしながら、劇場用映画作品をはじめとして、テレビ番組やテレビ CM、アニメーション、スポーツ文化イベント、学術研究、記録映像など、フィルムでのみ保存・保管されている貴重な映像資産は数多く存在しています。一方、長期間にわたり保存・保管されている作品については、経年劣化等による破損や退色の進行が非常に危惧されています。IMAGICA ウェストはそうした貴重な映像資産でありながら劣化の進行が危惧されるフィルムについて、修復やアーカイビング、メディア変換など適切な処置を行い当時の映像を蘇らせた上で保存し、活用につなげる事業を推進しています。

デジタルメディアの規格が新旧の世代交代を激しく繰り返す中、フィルムが 100 年以上存続した媒体であるという実績は非常に価値の高いものです。そして、フィルムで長期間保存・保管された末に貴重な文化的資産がその価値を確認されぬまま散逸する事態は避けなければならない、私たちはそのように考えています。映像資産を活用したいとお考えの著作権者の皆様、そして映像を視聴する機会を楽しみにされている視聴者や愛好家の皆様に貢献するため、IMAGICA ウェストは旧作フィルムの修復・アーカイブ事業において更なる技術とサービスの向上に努めてまいります。

＜本件に関するお問合わせ先＞

株式会社IMAGICAウェスト

経営管理部　担当　五郎丸・藤井

TEL：06－6353－1714